



芙蓉会会長 清水 啓助

皆さん、こんばんは。芙蓉会の清水でございます。

芙蓉会からは、100名のメンバーが今日参加させていただいていると、先ほど伺いました。芙蓉会は特技懇のOB会であり、また応援団でもあります。

特技懇の機関誌を拝見しておりますと、世界の特許の動き、成長分野における特許の動向、政策、制度、判例の研究、イノベーション等に関する記事がタイムリーに、しかも大変充実した内容で発信されております。特技懇のポテンシャルを示すものと、大変誇らしく思っております。

この春に新しい方々が入られました。新人の方々、入庁おめでとうございます。特許庁の審査官補の研修、これは他では決して受けることができない、大変充実した内容であります。皆様のご活躍されることを願っております。

それでは、僭越ではございますが、乾杯の音頭をとらせていただきます。

特技懇がますますそのポテンシャルを高め、日本、及び世界の知財に対してより大きな貢献ができますように願いまして、また、長官のお話にありましたように、特許庁が強い特許庁に向けてますます発展しますように、そしてご

列席の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして乾杯したいと思います。

ご唱和願います。乾杯。

どうもありがとうございました。

